

1. 科目名 (単位数)	知的障害教育Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	SSMP3449						
2. 授業担当教員	工藤 傑史			SCMP3449 SBMP3449						
4. 授業形態	知的障害教育Ⅰをふまえた講義、演習、模擬授業		5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「知的障害教育Ⅰ」を踏まえて行います。									
7. 講義概要	本科目では、知的障害教育Ⅰで学んだ理念や知識をふまえ、医療・福祉・労働など近接分野の最新の動向に関心を広げつつ、キャリア発達支援、保護者との安定した関係の構築、外部専門家との有機的な連携を視野に入れた学習を行う。また、個別の教育支援計画、個別の指導計画、学習指導案の作成を通して、実態評価や教材作成、指導方法の基礎知識も身につけ、多様な実態に対応できる実践力、即戦力を身につける。									
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して「知的障害教育Ⅰ」で学んだ基礎知識を応用し、初歩的な実践ができる。</p> <p>① 知的障害者を取り巻く社会事情のさらなる理解。  ② 知的障害の実態把握・アセスメント。  ③ 多様な実態に応じた個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成。  ④ 個に応じた教材・教具の考案と工夫。  ⑤ 学習指導要領の内容を踏まえつつ個々の実態に応じた指導案の作成。</p>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	第6回から第9回において、「各教科等を合わせた指導」についての模擬授業を行います。児童生徒の実態を決め、グループで役割分担をして、教材教具を工夫し、指導案を提出します。									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】特になし。春期の教科書「新版キーワード 特別支援教育」を引き続き使います。  【参考書】筑波大学附属大塚特別支援学校編著『特別支援教育のとおきおきの授業レシピ』学研、2015。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 各種教育計画の概要がわかり、指導計画を作成するための基礎を理解したか。  2. 知的障害者を取り巻く、就学前や就労に関する医療や福祉の制度にも関心がもてたか。  3. 事例の実態把握及び対応についての基礎的知識が身に付き、指導案作成から授業実践までのイメージをもつことができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>実際に教壇に立ったときに、教師としての計画性と柔軟性をもって実践できるかを念頭において評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 模擬授業 (発表態度、内容)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 授業での態度</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 論文課題・期末試験</td> <td>総合点の50%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>				1 模擬授業 (発表態度、内容)	総合点の30%	2 授業での態度	総合点の20%	3 論文課題・期末試験	総合点の50%
1 模擬授業 (発表態度、内容)	総合点の30%									
2 授業での態度	総合点の20%									
3 論文課題・期末試験	総合点の50%									
12. 受講生へのメッセージ	知的障害教育Ⅰ (春期) の内容をふまえて、講義・演習を実施します。春期の教科書を振り返りながら参加してください。知的障害教育の教師には、人を大切にする姿勢、相手を主役として活躍させる姿勢、不測の事態に柔軟に対応する知識と技能が必要です。集団活動を組織・計画し創造する能力が特に必要です。授業だけでなく人と関わるさまざまな体験を積み、人間性豊かな教師をめざしてください。									
13. オフィスアワー	1回目の講義でお知らせします。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション 知的障害教育の動向	事前学習	「知的障害教育Ⅰ」で学んだ内容を振り返っておく。							
		事後学習	模擬授業を行なうための仲間作りや下調べをしておく。							
第2回	知的障害教育における各種教育計画	事前学習	春期の教科書で、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を読んでおく。							
		事後学習	これらの計画の作成が義務化されている根拠を学習指導要領解説で確認しておく。							
第3回	知的障害特別支援学校における学習指導案づくり	事前学習	春期の教科書で、「指導案作り」、「評価と記録」を読んでおく。							
		事後学習	グループで、模擬授業の計画を立てる。							
第4回	実態把握とアセスメント	事前学習	春期の教科書で、「発達検査・診断」を読んでおく。							
		事後学習	学習したアセスメント方法を自分でできるようになっておく。グループで、模擬授業の計画を立てる。							
第5回	知的障害児の発達支援と教材・教具	事前学習	春期の教科書で、「障害児教育における教材・教具」を読んでおく。							
		事後学習	教材・教具をなぜ使うかについて説明できるようにしておく。							
第6回	生活単元学習の実際と指導計画	事前学習	春期の教科書で、「生活単元学習」を読んでおく。							
		事後学習	「生活単元学習」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。							
第7回	日常生活指導の実際と指導計画	事前学習	春期の教科書で、「日常生活の指導」を読んでおく。							
		事後学習	日常生活の指導」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。							

第 8 回	作業学習の実際と指導計画	事前学習	春期の教科書で、「作業学習」を読んでおく。
		事後学習	「作業学習」の模擬授業を見て気づいたことをまとめる。
第 9 回	自立活動の実際と指導計画	事前学習	春期の教科書 pp100-101 「自立活動」を読んでおく。
		事後学習	自立活動の 6 区分 27 項目について説明できるようにしておく。
第 10 回	行動障害への対応	事前学習	春期の教科書で、ASD や ADHD に関する部分を読んでおく。
		事後学習	ADHD や ASD の行動障害への対応のポイントをまとめておく。
第 11 回	交流及び共同学習	事前学習	春期の教科書で、「共同教育・交流教育」を読んでおく。
		事後学習	「交流及び共同学習」の法的根拠や、「副籍制度」、「支援籍制度」について説明できるようにしておく。
第 12 回	キャリア教育と就労支援	事前学習	春期の教科書で、「ライフステージと教育」を読んでおく。
		事後学習	「キャリア教育」について、その理念や法的根拠について説明できるようにしておく。
第 13 回	学校組織における危機管理	事前学習	特別支援学校で起こる「危機」と教師の役割について考えておく。
		事後学習	通常危機管理と災害時の危機管理について整理しておく。
第 14 回	生涯学習支援	事前学習	春期の教科書で、「生涯学習支援」を読んでおく。
		事後学習	「生涯学習支援」の意義についてまとまる。
第 15 回	知的障害教育の教育課題	事前学習	知的障害教育の教育課題について自分の考えをまとめておく。
		事後学習	提示された試験のポイントを再確認しておく。
期末試験			